

# 東南アジアの自然と農業研究会

## 第 96 回研究例会ご案内

第 96 回研究会例会を開催致します。今回は、京都大学大学院農学研究科地域計画学研究室の **星川 圭介** 氏に下記のようにご報告していただきます。皆様の多数のご参会と活発な討論を心から期待してお待ちしております。

### 記

日 時 : 2000 年 4 月 21 日 ( 金 ) 16:00 ~ 18:00  
会 場 : 東南アジア研究センター 東棟 2 階 第 1 教室  
( 京都市左京区下阿達町 46 川端通り荒神橋東詰め )  
話題提供者 : **星川 圭介** 氏  
( 京都大学大学院農学研究科地域計画学研究室 )  
話 題 : 「**東北タイにおける稲作と伝統的井堰灌漑  
形態と位置付け、そしてその変遷について**」

### ~ 要旨 ~

東北タイにおける稲作農業は、繰り返される旱魃や洪水といった不安定要因の下、粗放的に行われることが多い。また、重力灌漑に不利となる地形的条件が大部分を占めることもあり、一般には農民自身が水田灌漑に努力を払うことはないと考えられている。

しかしながら、東北タイにおいてもやはり、百年以上の昔から農民は自ら井堰を建設し、灌漑を行ってきたのである。現在までの調査の結果、そうした井堰は東北タイ地域に広く分布し、かなりの数が存在することが明らかになった。地域全体の水田面積がこの 100 年間で約 10 倍に増加し、より水条件の悪い土地へと水田が拡大したことを考えあわせると、かつて東北タイの水田稲作において、灌漑がある程度の地位を占めていたことも予想される。

発表では、井堰灌漑稲作の位置付けとその変遷について考察を行い、東北タイにおける稲作形態がどのように移り変わってきたのかを論じる。また、井堰灌漑の事例紹介も行いたい。

問い合わせ先：

京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻 ( 旧熱帯農学専攻 ) 松田正彦

Tel.075-753-6374 E-mail matsuda@kais.kyoto-u.ac.jp

京都大学東南アジア研究センター 柳澤雅之

Tel.075-753-7345 E-mail masa@cseas.kyoto-u.ac.jp